

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 2 月 17 日(2022.2.17)

【公開番号】特開 2020-151387(P2020-151387A)

【公開日】令和 2 年 9 月 24 日(2020.9.24)

【年通号数】公開・登録公報 2020-039

【出願番号】特願 2019-55623(P2019-55623)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

A 6 3 F 5/04(2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 5/04 6 0 1 C

A 6 3 F 5/04 6 0 1 B

10

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 2 月 8 日(2022.2.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の基板が搭載された遊技盤を有する遊技機であって、

前記遊技盤は、

遊技の進行に関するメイン側基板と、

遊技中に行われる演出に関するサブ側基板と、を備え、

前記メイン側基板と前記サブ側基板は、夫々複数設けられており、

前記サブ側基板のうちの特定のサブ側基板は、多色発光が可能であり、且つ遊技機の前側から視認可能な装飾部材に配置され、

当該特定のサブ側基板は、実装された部品を特定可能な部品番号を記した表示部が設けられた基板で構成される一方で、

前記メイン側基板は、実装された部品を特定可能な部品番号を記した表示部を基板両面のいずれにおいても設けずに形成した特定のメイン側基板を有して構成されており、

前記遊技盤を構成する遊技板の面部に対して前記特定のメイン側基板の面部が略平行とされるように当該特定のメイン側基板が配置され、

前記特定のメイン側基板の表面には第 1 部品が実装され、前記特定のメイン側基板の裏面には第 2 部品が実装される

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来より、シルク印刷で部品番号等が示される基板を備える遊技機が提案されている（例えば、特許文献 1）。基板は、所定色のレジスト液が塗布されることで高反射率とする装飾性を高めるものもある。

20

30

40

50

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献 1】特開 2006 - 141683 号公報（段落 [0047]、段落 [0048]、及び図 3）

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、シルク印刷より、基板の回路の構成が推察されて基板の回路が不正に改変されるという不正行為が行われるおそれがあった。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、不正対策を講じることができる遊技機を提供することにある。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、
複数の基板が搭載された遊技盤を有する遊技機であって、
前記遊技盤は、
遊技の進行に関するメイン側基板と、
遊技中に行われる演出に関するサブ側基板と、を備え、
前記メイン側基板と前記サブ側基板は、夫々複数設けられており、
前記サブ側基板のうちの特定のサブ側基板は、多色発光が可能であり、且つ遊技機の前側から視認可能な装飾部材に配置され、
当該特定のサブ側基板は、実装された部品を特定可能な部品番号を記した表示部が設けられた基板で構成される一方で、
前記メイン側基板は、実装された部品を特定可能な部品番号を記した表示部を基板両面のいずれにおいても設けずに形成した特定のメイン側基板を有して構成されており、
前記遊技盤を構成する遊技板の面部に対して前記特定のメイン側基板の面部が略平行とされるように当該特定のメイン側基板が配置され、
前記特定のメイン側基板の表面には第 1 部品が実装され、前記特定のメイン側基板の裏面には第 2 部品が実装される
ことを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

10

20

30

40

50

【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 8】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0 0 0 9	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 9】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0 0 1 0	10
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 1 0】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0 0 1 1	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 1 1】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0 0 1 2	20
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 1 2】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0 0 1 3	
【補正方法】削除	
【補正の内容】	
【手続補正 1 3】	
【補正対象書類名】明細書	
【補正対象項目名】0 0 1 4	30
【補正方法】変更	
【補正の内容】	
【0 0 1 4】	
本発明の遊技機においては、 <u>不正対策を講じることができる。</u>	